

(社)日本原子力学会 標準委員会  
発電炉専門部会 水化学管理分科会  
第1回 PWR化学分析作業会 議事要旨

【日時】2008年5月26日(月) 13:30～16:30

【場所】日本原子力発電(株) 第8会議室

【出席者】(敬称略)

委員:水野<主査>、笠原<副主査>、大平<幹事>、梅原、大橋、佐藤、塚本  
(7名出席)

オブザーバー:久宗

【配付資料】

P11WG1-1 作業会議題

P11WG1-2 水化学管理分科会 活動の進め方

P11WG1-3 PWR化学分析標準作成要領

【議事要旨】

議事に先立ち、主査より委員7名中7名が出席しており、本会議が決議に必要な常定数を満足していることが報告された。

- 1)出席委員全員の自己紹介が行われた。
- 2)役員選出について
  - ・ 第2回水化学管理分科会において、PWR化学分析作業会の取りまとめとして指名もあり、水野委員が作業会の主査となった。
  - ・ また、主査の指名により、笠原委員が副主査に、大平委員が幹事に決定した。
- 3)人事について
  - ・ 水野主査から、久宗健志(日本原電)から発言希望者として申し出のある旨の提案があり、発言希望者として承認した。
- 4)PWR化学分析作業会設置の経緯について
  - ・ 水野主査よりP11WG1-2に基づき、2008年4月24日の第2回水化学管理分科会においてPWR化学分析標準原案を作成するため、PWR化学分析作業会を設置することとなった経緯について説明された。

#### 5) PWR化学分析作業会の進め方について

- ・ 水野主査よりP11WG1-3に基づき、PWR化学分析作業会の業務内容について、優先順位1位である共通事項とほう素の分析標準を作成することの説明があった。
- ・ 水化学管理分科会の審議スケジュールについて、第3回に共通事項とほう素の分析標準を提案するが、第4回と第5回に向けての作業着手はどうか？  
→第2回水化学管理分科会では審議していないため、作業着手の可否については未定であり、次回の水化学管理分科会で検討すべき事項である。

#### 6) PWR化学分析標準法の検討

- ・ 水野主査よりP11WG1-1に基づき、分析方法の検討並びに原案作成の進め方について説明があり作業会メンバーで検討した。
  - 共通事項における「誤差」表示について、繰り返し精度の使用上の課題と問題点等を中心に議論し、次回の作業会までに繰り返し精度の考え方を水野主査と大橋委員が取りまとめて再度審議することとした。
  - ほう素の化学分析標準の原案については、水化学管理分科会への提案するため、大平委員が分析方法の選定、測定原理の妥当性、測定手順の適切性について説明資料を作成することとした。

#### 6) その他

- ・ 次回のPWR化学分析作業会は6月16日(月)13:30～原電本店で開催する。

以上